

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	法令を遵守しています。 活動内容によっては、狭さを実感することがあります。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	3	法令を遵守しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	2	視覚支援を用いた構造化に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		利用者様に合わせて柔軟に環境を調整しています。 日々の療育終了後に整理整頓・清掃を行っています。 新型コロナ・インフルエンザ等の流行感染症感染対策として、換気・消毒を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	事業所内で目標を一致させるとともに、適宜振り返りを行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		毎年保護者様に事業所の評価にご協力をいただいています。 保護者様のニーズを把握することに努めるとともに、必要に応じて改善を行っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		法人ホームページ内で公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7		現在外部による第三者評価は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		定期的に社内・社外研修へ参加するとともに、研修資料や報告書の回覧を通して、事業所内研修を実施しています。 自主的に研修や講習会に参加することで、専門性の向上に努めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		支援終了後のフィードバックや、定期的なモニタリングを通して保護者様のニーズを把握することに努めています。 個別支援計画作成時には児発管が個別支援会議を招集し、複数の職員が参加することで、多角的な視点から利用者様の評価を行っています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		現在は使用していません。
	12 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		複数のスタッフで検討を行いながら、プログラムの立案を行っています。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		年間を通して実施するプログラムを企画しました。 スモールステップで難易度を上げていくことで、年間を通した利用者様の成長・発達に繋がるように努めています。
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		継続して行ってきたプログラムの成果を確認する機会として、イベントという形で祝日に3日間開所しました。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	7		個別活動と集団活動のすみ分けを行うことで、利用者様が負担を感じることなく過ごすことができるように配慮しています。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		事前に打ち合わせを行うことで支援の目的やねらい、役割分担を確認しています。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		翌営業日には必ず、支援内容と利用者様の姿について振り返りを行いました。 改善点や次回への引き継ぎ事項について記録を行うことで、職員間での周知を徹底しました。
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		日々の支援を振り返るとともに記録を作成することで、中間評価や個別支援計画の作成へと繋がっています。
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		半年に一度モニタリングを行い、個別支援計画の作成に繋がりました。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		児童発達支援管理責任者と担当者が出席しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7		保護者様に協力いただき、学校の年間行事を把握しています。
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		児童発達支援事業所からの引継ぎ資料を基に、相談支援専門員とのカンファレンスを行いました。
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓	✓	今年度は該当する利用者様がいません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓	✓	現在ご利用がありません。
	25 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	✓	✓	現在ご利用がありません。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓	✓	相談支援専門員や保育所等訪問支援員との情報の共有を図っています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		奈良県発達支援センターでいあ主催のペアレント・トレーニング支援者対象講座に参加しました。 保護者様に対して、つくだクリニック院長 佃宗紀氏による講演会を実施しました。
28 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7		今年度は行っていません。	

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	今年度の参加はありません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	支援終了後のフィードバックにて内容を振り返るとともに、利用者様の言動や様子について伝え合うことで、情報連携に努めました。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	今年度は行っていません。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	契約時に説明しています。 保護者様の不明点に対しては、丁寧に説明させていただいています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	個別支援計画作成に係るモニタリングでは、保護者様の願いや困り感に対して傾聴の姿勢で臨みました。 積極的に保護者様とのコミュニケーションを図りながら、より良い関係性の構築に努めてきました。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	今年度は実施できていません。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	傾聴の姿勢を示しながら、適切に対応しました。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	毎月の「しおん」たよりや法人ホームページ内のブログなどで情報の発信しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	全ての職員が適切に取り扱っています。
非常時等の対応	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	口頭でのやり取りだけではなく、必要に応じて意見やことばをホワイトボードに書くなどの工夫をしました。 伝えただけではなく、相手に伝わったかどうかを意識したやり取りを心がけました。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	イベントを行った際、他事業所のスタッフと利用者様に見学・参加していただきました。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	各種マニュアルを作成するとともに掲示を行うことで、職員の周知を図っています。 定期的に火災と地震の避難訓練を支援中に行っています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	法人内に事業継続計画(BCP)設立委員会を設置しています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	保護者様に「相談受付票」を記入いただき、職員間で内容の周知を徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	該当する事例が起これば、「ヒヤリハット・事故報告書」に記載しています。 定期的に行われる法人内の虐待防止・身体拘束の適正化委員会にて報告をしています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	法人内に虐待防止・身体拘束の適正化委員会を設置して、児童発達支援管理責任者が出席しています。同時に、内容を職員に周知することで虐待防止の徹底を図っています。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	／	／